

# 立命館大学生存学研究センター 国際研究交流企画

## 講演 シュタイネック羅慈 (Raji C. Steineck)

### 「装置」としての「脳死」

**講演要旨** 1968年以来、いわゆる「脳死」は、死の新しい判定規準として世界各国に導入されてきました。本講演では、「脳死基準」の導入にあたっておこった「脳死論」を顧みながら、まず「脳死」は死の「基準」ではなく、死の「再定義」であったことを改めて確認する。そして、「脳死論」の最近の動向を鑑み、フーコーの「装置」(dispositif)の思想から「脳死」の性格を考察する。

#### ■ シュタイネック羅慈 (Raji C. Steineck) 氏

チューリッヒ大学日本学主任教授・東洋学科長、同志社大学客員教授  
主な著作:『神秘主義思想の基本構造』(2000),『道元に於ける心身問題』(2003),『日本生命倫理学に於ける身体思想』(2007)。



**2012年 7月20日(金)**

**15:00~18:30**

立命館大学衣笠キャンパス

学而館第3研究会室

入場無料・事前申し込み不要

15:00	開会・挨拶 安部彰
15:10-16:10	シュタイネック氏講演
16:10-16:30	質疑応答
16:30-16:50	休憩
16:50-17:10	研究報告1 川端美季
17:10-17:30	研究報告2 堀田義太郎
17:30-18:30	全体討論

報告1 川端美季(立命館大学生存学研究センター ポストドクトラルフェロー)

報告2 堀田義太郎(立命館大学生存学研究センター 特別招聘准教授)

司会 安部彰(立命館大学生存学研究センター 特別招聘准教授)

このたび、立命館大学生存学研究センターでは、日本学および日本の生命倫理学の研究者として高名なシュタイネック羅慈氏の公開講演会を開催する運びとなりました。氏独自の観点からの分析・考察をつうじて「脳死」問題にたいする私たちの認識は刷新され、さらなる思考の深みへと誘われるでしょう。万障お繰り合わせのうえ、ご参加いただくとさいわいです。

主催 立命館大学生存学研究センター

問い合わせ先 立命館大学生存学研究センター事務局 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL: 075-465-8475 FAX: 075-465-8342

E-mail: [ars-vive@st.ritsumei.ac.jp](mailto:ars-vive@st.ritsumei.ac.jp)

※ 駐車スペースがございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。